

信州大学山岳科学総合研究所と市立大町山岳博物館との 研究協力協定書

山岳および大町市とその周辺地方の民俗、歴史などの資料を収集、保管、展示し一般の観覧に供し、本邦における山岳文化などの普及並びに調査研究を行う市立大町山岳博物館と、信州の自然と社会をフィールドとして、山岳およびそれに連なる里山における自然と人間の相互関係にかかわる諸問題の解決を目指した研究を行い、新しい学問領域「山岳科学」を創造しようとする信州大学山岳科学総合研究所は、相互の連携の意義を深く認識し、自然と人間の共生の諸課題探求に力をあわせて貢献するため、ここに研究協力協定を締結する。

- 1 両者は、相互に関心を共有する研究課題については必要に応じ共同して取り組む。そのため、関係する研究者が共同して企画し実施する共同研究を、それぞれの制度および予算の範囲内で支援する。
- 2 両者は、相手方の関連研究者を客員研究員として受け入れることができる。
- 3 両者は、研究情報やデータの相互利用について配慮し、研究連携の発展に役立てる。
- 4 共同研究の成果の公表については、両者の協議に基づいて行う。
- 5 両者は、本協定の実施に当たって、財政的義務を負わない。
- 6 本協定の運用については、両者は必要に応じ、相互に誠意をもって協議する。
- 7 本協定は、双方の署名により発効し、締結日から5年間有効とする。失効期限の6ヶ月前までに、いずれか一方から文書により解消または内容変更の意思表示がない場合は、自動的に5年間延長される。その後も同様とする。

本協定書は、2通作成し、両者記名押印のうえ各自1通を保有する。

平成17年7月5日
信州大学山岳科学総合研究所所長

藤沢謙一郎

平成17年7月5日
市立大町山岳博物館館長

柳澤昭夫